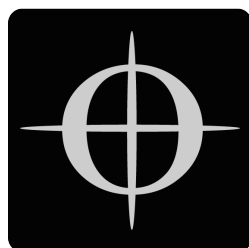




New Features

– LINUS Control v2.2.14 –



目次

1. 新機能	3
1.1. スピーカーファイルのアップデート	3
1.2. ステートマネージャー	3
1.3. IP アドレスレンジ	6
1.4. Standby / Wake Up	7
1.5. Q-SYS プラグイン	7
1.6. ラウドスピーカーメニューの整理	8
1.7. 「Extended Cardioid」プリセット	8



1. 新機能

1.1. スピーカーファイルのアップデート

APS Arrayed	New	初搭載 - Full DS-FIR (高精度) の追加
APS Single	New	初搭載 - Full DS-FIR (高精度) の追加
APS Arrayed >>	New	初搭載 - Low DS-FIR (低レイテンシー) の追加
APS Single >>	New	初搭載 - Low DS-FIR (低レイテンシー) の追加
N-APS Arrayed	New	初搭載 - Full DS-FIR (高精度) の追加
N-APS Crossover Arrayed	New	初搭載 - Full DS-FIR (高精度) の追加
N-APS Single	New	初搭載 - Full DS-FIR (高精度) の追加
N-APS Crossover Single	New	初搭載 - Full DS-FIR (高精度) の追加
N-APS Arrayed >>	New	初搭載 - Low DS-FIR (低レイテンシー) の追加
N-APS Crossover Arrayed >>	New	初搭載 - Low DS-FIR (低レイテンシー) の追加
N-APS Single >>	New	初搭載 - Low DS-FIR (低レイテンシー) の追加
N-APS Crossover Single >>	New	初搭載 - Low DS-FIR (低レイテンシー) の追加
HOPS12 Fullrange 90° x 60° >	New	初搭載 - 新製品
HOPS12 Fullrange 60° x 40° >	New	初搭載 - 新製品
SCP Cardio70X Front	New	初搭載 - 新プリセット「Extended Cardioid」
SCP Cardio70X Rear	New	初搭載 - 新プリセット「Extended Cardioid」
SCP Cardio100X Front	New	初搭載 - 新プリセット「Extended Cardioid」
SCP Cardio100X Rear	New	初搭載 - 新プリセット「Extended Cardioid」
SCV Cardio70X Front	New	初搭載 - 新プリセット「Extended Cardioid」
SCV Cardio70X Rear	New	初搭載 - 新プリセット「Extended Cardioid」
SCV Cardio100X Front	New	初搭載 - 新プリセット「Extended Cardioid」
SCV Cardio100X Rear	New	初搭載 - 新プリセット「Extended Cardioid」
SCP Cardio70 (Front & Rear)	Update	タイミングを更新。使用している場合は、システムを再確認後、再設定してください。
SCV Cardio100 (Front & Rear)	Update	タイミングを更新。使用している場合は、システムを再確認後、再設定してください。

* 詳細は、後述の 1.7. 「Extended Cardioid」プリセットを参照してください。

1.2. ステートマネージャー

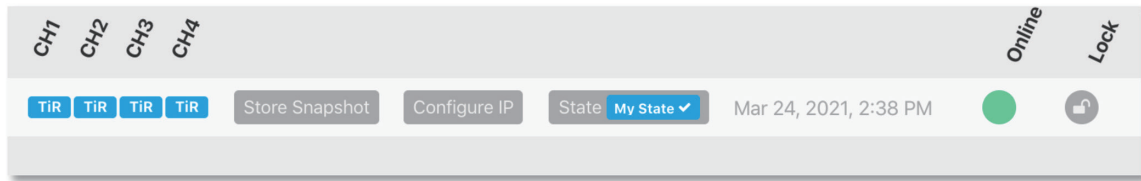
LINUS Control のファイルをネットワーク上のアンプに保存しておき、後からこのファイルを読み出すことができるようになりました。これにより、ユーザーは LINUS Control ファイルにアクセスすることなく、ネットワークのステート (状態) を全く新しい機材にリコールできます。LINUS Control ファイルには、個々のアンプのパラメーターだけでなく、全体のステートが保存されているので、1 台のアンプから 250 台分のアンプのデータとチューニンググループなどからなるショーファイル全体を復元することができます。

AMPS ページからオンラインのアンプにステートを保存します。

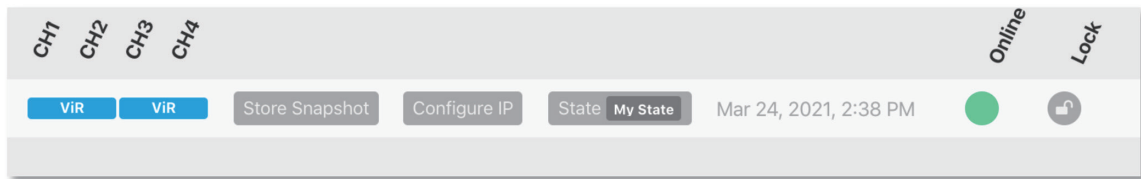
アンプ、ディスカバリーリスト、または AMPS ページからアンプに保存されているステートを呼び出します。

注意 ステートの保存は、システムエンジニアやコミッショニング担当者が、システムの現在のステートに満足したときに行うべき手動操作です。ステートの保存を行うと音声が一時的に中断されるため、ショーの最中には行わないでください。

オンラインのアンプに保存されている現在のステートは AMPS ページに表示されます。アンプに保存されているステートが LINUS Control の現在のステートと**完全に**一致する場合、ステート名が青の背景で表示され、その横に「チェック」マークが表示されます。

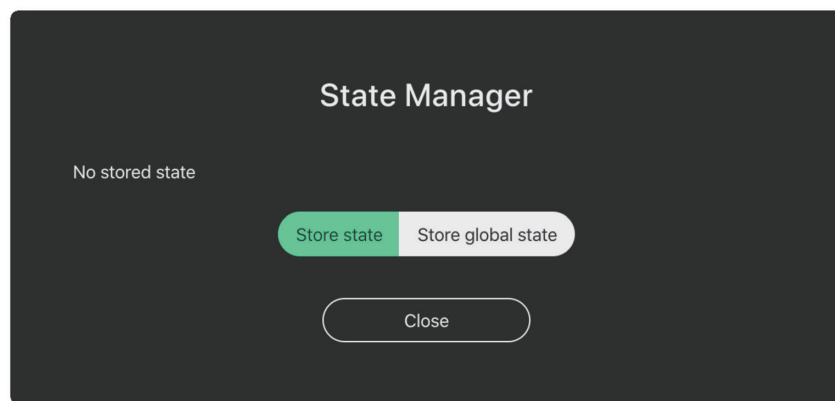


それ以外の場合は、ステートがグレーで表示され、「チェック」マークは表示されません。

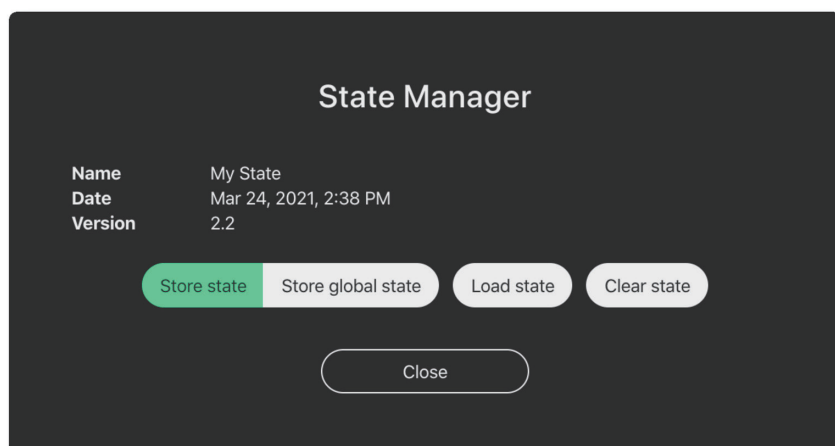


いずれの場合も、アンプ内に保存されているステートがあれば、「State」ボタン内にステートの名前が保存され、その右側に保存された日時が表示されます。

LINUS Control ファイルのステートをアンプに保存するには、AMPS ページの「State」ボタンをクリックします。すると、「State Manager」ダイアログが表示されます。ステートを 1 つのデバイスだけに保存するか、グローバルにすべてのデバイスに保存するかを選択します。下の図は、まだステートが保存されていないアンプを示しています。



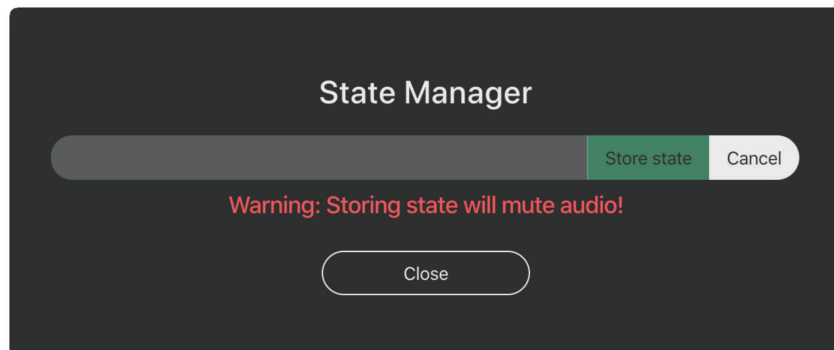
下の図は、2021 年 3 月 24 日 14:38 に保存された「My State」というタイトルのステートを含むアンプを示しており、さらにこのステートは LINUS Control v2.2 で保存されています。



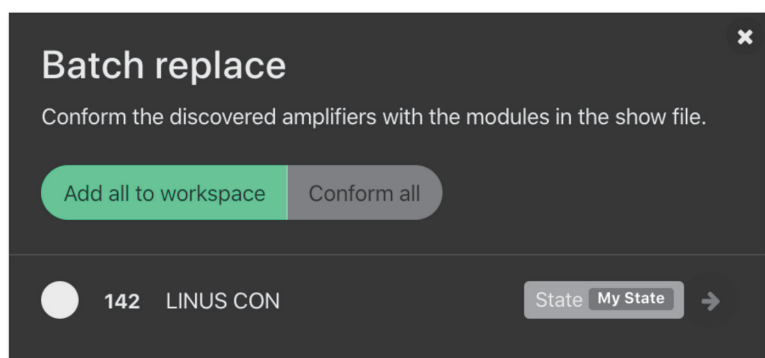


「Clear state」ボタンをクリックすると、個々のアンプのステートがクリアされます。

「Store state」または「Store global state」ボタンをクリックすると、次のようなダイアログが表示され、保存するステートの名前を入力することができます。「Store state」をクリックすると確認を求められます。クリックすれば続行します。操作が実行される間、オーディオがミュートされるため、ご注意ください。



前述のように、ステートは、AMPS ページのアンプの 1 つから呼び出すことも、ディスカバリー・リスト（まだワークスペースにないアンプ）から呼び出すこともできます。



アンプの横にあるステートボタンをクリックすると、State Manager ダイアログが表示され、ステートのパラメーターを確認したり、ロードするかどうかを選択することができます。

1.3. IP アドレスレンジ

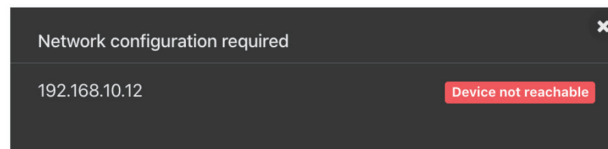
LINUS アンプと LINUS コントロールは、192.168.1.X の範囲である必要はなく、任意の IP レンジとサブネットに存在することが可能になりました。

LINUS Control で制御できるアンプは、1 つのネットワーク上に 250 台までという制限があり、アンプは LINUS Control 内で IP の第四オクテットで個別に識別されます。つまり、コントロールコンピュータの IP/ サブネット設定を **192.168.10.250 / 255.255.0.0** とし、2 台のアンプを **192.168.10.1** と **192.168.181.13** に設置することは全く問題ありませんが、**192.168.14.140** と **192.168.29.140** に設置することは、第四オクテット (140) が重複してしまうため不可能です。

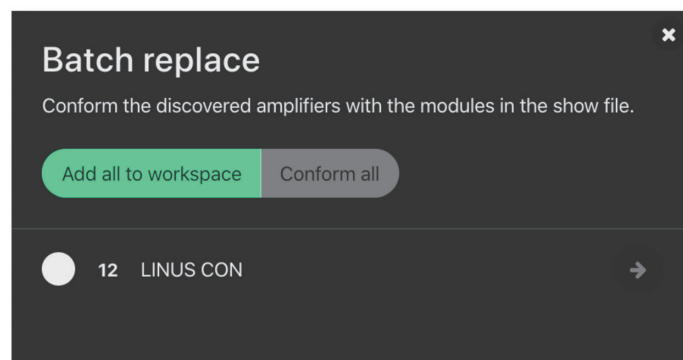
アンプ / コントローラーのフロントパネルにある LCD の右上に表示される ID 番号は、常に IP アドレスの第四オクテットを繰り返し表示しています。

注意 フロントパネルから IP アドレスを変更すると、アンプは常にデフォルトの 192.168.1.X の範囲に戻ります (X はフロントパネルから選択した ID 番号)。カスタム IP レンジを維持するためには、LINUS Control またはサードパーティコントロールプロトコルを使用してアンプの IP アドレスを変更する必要があります。

LINUS Control でアンプをカスタムレンジに変更するには、アンプの現在の IP アドレスをメモしておきます。コントロールコンピュータのサブネットマスクが、LINUS Control アプリケーションがアンプと通信できるように設定されていることを確認します。この設定が間違っている場合、アンプは LINUS Control によって検出されますが、通信はできません。この場合、発見リストに「not reachable」と表示されます。

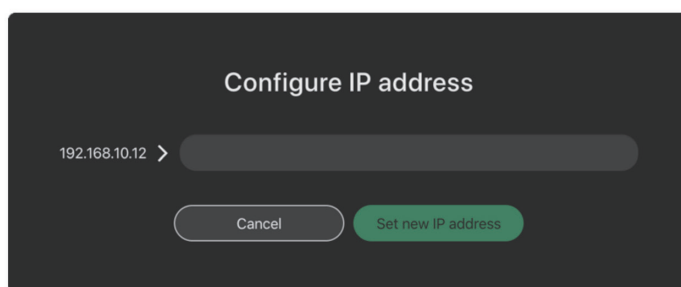


コントロールコンピュータの IP とサブネットが正しく設定されると、デバイスにアクセスできるようになり、ワークスペースに追加することができます。





ワークスペースにアンプが追加されたら、AMPS ページの関連する Configure IP ボタンをクリックします。これでダイアログが表示され、アンプの IP アドレスを設定できます。

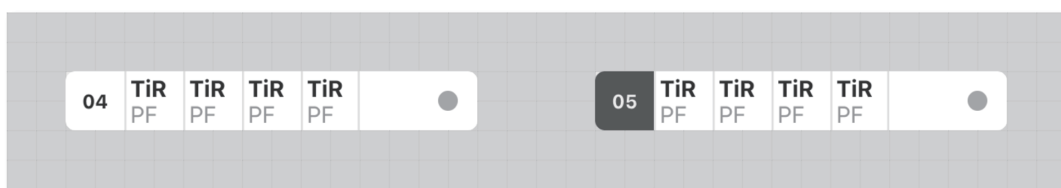


新しい IP アドレスの第四オクテットが変更されていない場合は、そのアンプは新しい IP でワークスペースに表示されます。変更されていない場合は、ワークスペースではオフラインとして表示され、発見リストでは新しく発見されたアンプとして表示されます。その後は、通常の方法でワークスペース内のアンプと交換することができます。

1.4. Standby / Wake Up

LINUS10 と LINUS CON を除くすべてのアンプは、オンライン状態であれば、LINUS Control の SETUP ページから「スタンバイ」状態にしたり、「スタンバイ」状態を解除したりすることができます。

On または **スタンバイ中** のアンプは、アイコンの左側にグレーの色が表示されます。



LINUS Control のオンライン環境でアンプをスタンバイ状態にするには、左の ID 番号を囲む四角をクリックします。これにより、アンプのオン / スタンバイが切り替わります。

注意 ID をクリックすると即座にこの機能が動作します。アンプが出力している状態で誤ってこの機能を動作させないために、SETUP 画面ではなく TUNE 画面や MONITOR 画面でオペレーションを行ってください。

LINUS Control のセットアップモードによるアンプの状態切り替え（オン / スタンバイ）は、アンプのフロントパネル・スイッチの物理的向きを保持したまま、アンプの状態を切り替えるものです。

例：LINUS Control はフロントパネルスイッチを上書きし、フロントパネルスイッチがオフでスタンバイ状態のアンプを、左のグレーの四角をクリックするだけで「起動」させることができます。

1.5. Q-SYS プラグイン

Q-SYS プラグイン「LINUS Q-SYS Plugin」は、Q-SYS Designer から LINUS アンプの各種パラメータを制御することができます。詳細は、「LINUS Q-SYS Plugin Operation Manual v2.2.14.pdf」をご参照ください。

1.6. ラウドスピーカーメニューの整理

LINUS Control のラウドスピーカー選択メニューでは、DS-FIR クラス別にプリセットを並べることができるように、プリセットの列に小見出しが付きしました。

Family	Model	Preset
Line Array	✓ APS	Full DS-FIR (High Precision)
✓ APS-Series	N-APS	Arrayed
HOPS-Series		Single
Column Line-Source		Half DS-FIR
G-Series		Arrayed >
D-Series		Single >
Subwoofers		Low DS-FIR (Low Latency)
Stage Monitors		Arrayed >>
Special Applications		Single >>
Discontinued		

- **「Full DS-FIR - High Precision」** プリセットは、スピーカーに対して可能な限りフラットなフェーズレスポンスを特徴としており、最高の忠実度で再生するために最適化されています。この副作用として、他のクラスのプリセットよりも若干長い「レイテンシー」が発生します。レイテンシーが問題となる場合には、他のクラスを選択する必要があるかもしれません。
- **「Low DS-FIR - Low Latency」** プリセットは、アンプを介したスルーブット・レイテンシーを可能な限り短くしたもので、多くの場合、単なる IIR プリセットです。これらのプリセットは、「High Precision」または「Half DS-FIR」プリセットのレイテンシーが大きすぎる場合の「最後の切り札」です。低レイテンシークラスのスピーカーは、フェーズレスポンスを犠牲にして可能な限り高速に設計されているため、相互の位相互換性は保証されていません。
- **「Half DS-FIR」** プリセットは、両極端間の中間的なものであり、多くの場合、許容できる妥協点となります。

注意 ラインアレイ / ポイントソースアレイに異なるクラスのプリセットは**混在できません**。

1.7. 「Extended Cardioid」プリセット

スピーカーライブラリーに、SCP/-F と SCV-F 用の拡張カーディオイドプリセットが追加されました。使用方法の詳細については、テクニカルノート「Cardioid Deployments.pdf」をご参照ください。

202105

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>